



Light and Greenery Art Museum

相模原市収蔵作品

江成常夫 写真展 「ニューヨーク日記」より

2017.3.4.sat—4.2.sun

開館時間 10:00-18:00 休館日 月曜日
入館料 一般 500円 / 高・大生・65才以上の方 250円 ※中学生以下無料
主催 光と緑の美術館 共催 相模原市
協賛 (株)ニコン、エプソン販売(株)、相鑑舎、(株)フレームマン

会場 光と緑の美術館



相模原市収蔵作品

江成常夫 写真展 「ニューヨーク日記」より

2017年3月4日(土)～4月2日(日)

開館時間 10:00-18:00 休館日 月曜日

入館料 一般500円/高・大生・65才以上の方250円※中学生以下無料

主催 光と緑の美術館 共催 相模原市

協賛 (株)ニコン、エプソン販売(株)、相鑑舎、(株)フレームマン

日本を代表する写真家の一人、江成常夫氏は1936年(昭和11年)、相模原市に生まれました。氏の写真家としての活躍と作品は世界的に高く評価され、1981年(昭和56年)木村伊兵衛写真賞、1985年(昭和60年)土門拳賞の受賞に続き、その後も毎日芸術賞、日本写真協会賞、神奈川文化賞、相模原市民文化彰など数々の受賞を重ね、2002年(平成14年)には紫綬褒章が授与されます。相模原市が所蔵する「収蔵美術品」の中から、当館では2010年に「江成常夫写真展～ふる里相模川 山河風光 より」を開催。相模川の自然をテーマにした作品を展示いたしました。今回は1974年から翌年にかけてニューヨークに滞在し、日記のように撮影された写真の集大成「ニューヨーク日記」(1989年初版)に焦点を当て、今もなお精力的に活動されている郷土が誇る写真家、江成常夫氏の作品世界の一端を紹介するものです。

ENARI TSUNEO

略歴
 写真家/九州産業大学名誉教授
 1936年 神奈川県相模原市生まれ。
 1962年 東京経済大学経済学部卒業。
 毎日新聞東京本社に入社。
 1974年 同社退社、フリーに。渡米後、ニューヨークに滞在しニューヨークの家族などを撮影。
 1978年 渡米、ロサンゼルスに滞在し、日本人の戦争花嫁を撮影。以後、「戦争の昭和」をテーマに戦後の日本人の精神性を問い続ける。
 2000年より「フォトシティさがみはら」に参画。
 2010年6月より九州産業大学名誉教授。

受賞
 1977年 第27回日本写真協会新人賞
 1981年 第6回木村伊兵衛写真賞
 1985年 第4回土門拳賞、第52回毎日広告デザイン賞
 1995年 第37回毎日芸術賞
 2001年 日本写真協会年度賞、
 第50回神奈川文化賞、相模原市民文化彰
 2002年 紫綬褒章
 2010年 旭日小綬章
 2015年 酒田市特別功労章

主な写真集および著作
 「ニューヨークの百家族」(平凡社、1976年)
 「花嫁のアメリカ」(講談社、1981年)
 「百肖像」(毎日新聞社、1984年)
 「シャオハイの満州」(集英社、1984年)
 「ニューヨーク日記」(平凡社、1989年)
 「まぼろし国・満州」(新潮社、1995年)
 「記憶の光景・十人のヒロシマ」(新潮社、1995年)
 「山河風光 相模川の四季」(相模経済新聞社、1998年)
 「花嫁のアメリカ歳月の風景 1978-1998」
 (集英社、2000年)
 「ヒロシマ - 万象」(新潮社、2002年)
 「生と死の時」(ニコールクラブ 平凡社2006年)
 「鬼哭の島」(朝日新聞出版、2011年)



主催 光と緑の美術館

神奈川県相模原市中央区横山3-6-18

〒252-0242

Tel 042-757-7151 Fax 042-757-9491

http://www.hm-museum.com

1 鉄道駅利用の場合

JR相模線上溝駅より徒歩8分

JR横浜線相模原駅下車南口タクシー利用約10分

JR横浜線相模原駅下車南口バスターミナル6番乗り場よりバス
 相14系統バスにて横山団地バス停下車徒歩約5分相17系統
 バスにてグリーンプール入口バス停下車徒歩約3分
 ※バス便はいずれも本数が少なくなっております。

2 お車の場合(※来館者用駐車スペースは約8台)

東名高速道路横濱町田インターチェンジから約30分～60分。
 国道16号線を八王子方面へ向かい、相模原警察署交差点を左折、
 横山6丁目交差点を横山公園方面へ右折後、道なりに直進。
 市営水泳競技場「さがみはらグリーンプール」第2駐車場の向い側。